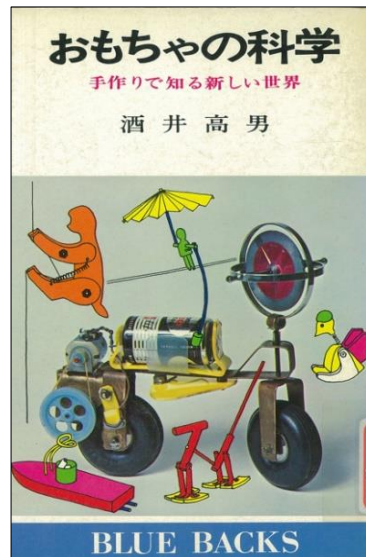


おもちゃの科学：手作りで知る新しい世界



『おもちゃの科学／酒井高男／講談社ブルーバックス／1977年』

著者紹介	機械工学者，“おもちゃ工学”，東北大学名誉教授
本の内容	<p>機械工学，機構学の第一人者が，全力で楽しみながら“おもちゃ”の原理を解明していきます。教授自身が特徴的な動きをする様々なおもちゃを調査，コレクションし，分解や複製の製作，専門的な知識などを総動員してまとめています。</p> <p>とは言っても難しい話は一切なく，写真や図面を交えて，語り掛けるような文面で読みやすいです。ポーッと挿絵を眺めているだけでも面白いでしょう。超エリートの教授が最後にたどり着いた“楽しい講義”の本です。</p>
こんな人に読んでほしい	専門の講義に疲れた / 参っている人，アイデアが欲しい人
おすすめコメント	「必死になることなく，学ぶこと自体に喜びを得てほしい」，本にも書かれている酒井教授のお考えです。教科書はツマラナイ・・・という人も，この本であれば気楽に読めるのでお勧めです。

配置場所は

[こちら](#) →



機械工学科 / 松野 孝博

